

心の輪13R



『人に迷惑をかけなければいいのか？』

という資料を通して、

『きまりの意義』について考えました！



自分の都合だけを考えて行動すると、自分以外の人たちに迷惑がかかってしまい、みんなが良い気持ちでいられなくなってしまう。自分が他の人に迷惑をかけられたら嫌な気持ちになるから、そのことを他の人にしてはいけないと思う。

自分も他人も安全に過ごすためにはきまりが大切。きまりを破ってしまったら、他人に迷惑をかけ、危険になってしまう。きまりは破ってしまうよりも守った方がいいと思った。

理由があってもきまりはあるのに、自分たちの勝手な行動で人に迷惑をかけ、大きな事故などにつながってしまうから、きまりは必ず守らなければならない。

きまりというのは、自分たちのためにあり、守るために、他の人が困らないようにするためにあるのだと思う。理由は、例えば、工事現場でも「ここに入ってはダメ」というきまりを守らなかったら、自分がけがをしてしまうからです。

きまりとは、自分の都合だけでかえることができない。けれど、自分の都合で変えてしまったら、きまりではなくなると思った。きまりを守るんじゃなくて、きまりに守られていると思った。

他の人に迷惑をかけないために『きまり』がある。きまりを破ると、いつか取り返しのつかないことになってしまうかもしれないと思った。

『きまり』は、みんなが守ってこそそのきまりだから、一人ずつきまりを破っていくと、また新しいきまりができる。だから、きまりというのは守らないといけない。私も守れるようにしたいです。

法やきまりについて学んだこと



私たちの社会には、国で作られた法律、都道府県や市町村で作られた条例などがある。また、学校や学級のきまりを守って、学校生活を送っている。法やきまりは守らなければいけないと分かっているけど、忘れてしまったり、どこか反発したくなったりすることはなかっただろうか。

文部科学省資料
『私たちの道徳』P.135より引用

saying

この人のひと言

法律の規定に触れさえしなければ
何をやっても可いという思想ほど、
社会に迷惑をかけるものはない。

吉野作造

■よしのさくぞう (1878~1933)
民本主義を唱えた政治学者。

文部科学省資料
『私たちの道徳』P.139より引用

きまりがないと、みんなが自分勝手にして、色んな人に迷惑をかけてしまったりすることがあるから、きまりがあった方がいいと思った。

きまりは、自分たちの安全のためにあると思います。自分が何も思わずにしていることが、他の人の迷惑になっていることを考えて行動していきたいと思います。

人に迷惑をかけると、みんなの迷惑になる。迷惑をかけるということは、やってはいけないこと。しっかりルールやきまりを守って何事も取り組もうと思った。